

2013年
3月15日

No.161

さざなみ

〒520-2141

大津市大江6丁目23-24

浦谷貞子 気付

さざなみネット

(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)

TEL・FAX 077-545-5154

被災者本位の復興を 原発ゼロを実現する政治に変えよう 国民多数の声と行動が列島を揺るがす

東日本大震災と原発事故から2年という節目を前に、原発をなくす全国連絡会が「全国一斉行動」を呼びかけ、3月10日を中心に全国47都道府県300カ所以上で集会やデモ、学習会や宣伝などの行動が取り組まれました。「被災者本位の復興を」「原発ゼロを実現する政治に変えよう」という国民多数の声と行動が列島を揺るがしました。

大津市では10日、原発のない社会をめざす「びわこ集会」が、県内各団体の70氏以上の呼びかけで、立場の違いを超え原発のない社会をめざすことの1点で共同して、膳所公園と生涯学習センターにおいて開かれました(チラシ裏面下)。あいにくの悪天候にもかかわらず1000人を超える人々が参加、さざなみネットからは3人が参加し、「福島を忘れない」「若狭の原発から琵琶湖を守ろう」とアピールしました。

生涯学習センターホールで行われた講師・神田香織さんのトークショーは超満員。代表作「チェルノブイリの祈り」のワンシーンも披露して、被害の深刻さを指摘、「2度と原発事故を起こしてはならない」と力強く訴えました。

膳所公園野外ステージのライブも熱がこもり、出店や企画ブースも40近くで賑わいました。メイン集会では井戸弁



トークをする講師 神田香織さん

護士の特別報告、村西愛荘町長・藤澤日野町長のスピーチで盛り上がりました。パルコ前までのパレード・デモは、雨も上がり800人が参加しました。



パレード・デモ

(参加者の感想)
運動は明るく
楽しく粘り強く



昨年、反原発運動の各々の団体が1つに集まれませんでしたが、今年は一点共闘で開催されました。役員の方々の涙ぐましい努力の結果です。私は新日本婦人の会からの参加。かやくご飯を持って、膳所公園のこだわりマーケット・新婦人のブースへ午前9時に集合。準備も整ってさあ開始の30分後に無情の雨が降り、寒い日となりましたが、ステージ出演者も会場参加者もとても熱い。福島出身の講師神田香織さんの「運動は明るく楽しく粘り強くがモットー」という言葉が心に残りました。原発再稼働反対の運動にガンバロウと再確認する日となりました。(植木)



岩波 美智子さん 画

